

メイク松戸ビューティフル

身近なことから始めよう！

地球に やさしい エコ活動

日本のみならず、世界各地でさまざまな環境問題が発生しています。特に地球温暖化は深刻で、気温の上昇や気候変化による自然災害が各地で起こるなど私たちの生活に影響が現れ始めています。このような状況の中、私たちは環境について考え、行動することが重要なのではないのでしょうか。今回はごみのポイ捨て防止・減量、省エネ・リサイクルなど、エコ活動に取り組みながら日々の生活を豊かにする市民活動を紹介します。

日本エコトイ協会/
エコトポの会

アースコン・マツド

つかいまわし工房

活動を通して、街も参加者の心も
見ている人の心もきれいに

メイク松戸ビューティフル

早朝の松戸駅に和太鼓の会「松戸つづみ連」による力強い太鼓演奏が響き渡ったのを合図に、年1回行われている「ポイ捨てウォッチング」が始まりました。この日は市内に降った雪が溶け切らない日曜日。足元の悪い日でしたが、街をきれいにしようと町会・自治会や事業者、中学生など、幼児からお年寄りまで122人の参加者が松戸駅周辺のポイ捨てごみの調査と清掃を行いました。

ポイ捨てウォッチングは同会が発足した平成10年から行われ、今年で20回目。「この活動によって、街も、参加している皆さんの心も、見ている人の心もきれいになります」と、戸田会長が参加者を鼓舞します。「車に注意して、歩道や植え込みは特にごみが多いので注意深く見てください」とのアナウンスを受け、参加者は松戸駅西口と東口の持ち場に向かいます。分別するための3種類のごみ袋と、ごみの種類を記入する調査票・軍手・火バサミを手にごみを回収し、1時間ほどでビン・缶やたばこの吸い殻など、3,086個（30kg）ものごみが集まりました。

平成4年から松戸駅前の清掃を行っていた松戸市倫理法人会の皆さんが、ポイ捨てを減らそうと7,000人の署名を集め、平成10年に発足した「松戸市空き缶などの散乱防止対策市民会議」。その会議を、親しみやすい「メイク松戸ビューティフル」に改名し、同会は発足しました。

ポイ捨てウォッチング以外にも、毎月第2・4日曜の朝6時から「松戸駅前ポイ捨て防止キャンペーン清掃」、松戸の街の環境美化に関することをテーマにして年1回開催している「Be Can (美化)フォーラム」など、活動は多岐にわたります。それらの継続的な取り組みが評価され、平成28年6月に環境大臣表彰を受賞しました。「今後は、特に子どもや若い人、退職後の人たちに声をかけて、活動することの喜びを感じてもらいたいです。また、市民1人が1本の木を植える『植樹運動』を推進してより環境を良くしていきたいです」と戸田会長。街も心もきれいにする活動はさらなる広がりを見せていきます。

同会の活動に参加したい人、環境に関する活動をしていて「Be Canフォーラム」で発表したい市内の団体・企業は、同会・戸田☎090-3210-0702にお問い合わせください。



戸田会長

多くの参加者が
集まりました



小さなごみも
見逃しません



西口だけで
こんなに
ごみが！



環境大臣表彰
を受賞



家の中に眠っている着物や服を
おしゃれな服や小物に

つかいまわし工房

あなたの家のタンスに、着なくなった着物や服はありませんか。つかいまわし工房は、それらを使って、すてきな服にリメイクしたり、小物にしたりする活動をしています。「着物の縫い目をすべて解くと、ちょうど上下分の服を作る布がとれます。袖の部分をもつ合わせてベストにすることもできます」と同工房の代表・中岡さんは言います。

同工房は、平成14年に当時手賀沼をきれいにする環境保全活動を行っていた中岡さんが、まつど市民活動サポートセンターの運営等を考える委員会に参加したことから始まりました。「私たちの世代は、和ダンスに着物を入れてお嫁にいきましたが、その時のままタンスの中に残っているものもありました。そこで、その着物を使いまわすことにしました。明治時代の人はどんなものもきちんと大切に使う、資源の循環をしていました。そのころを大切にしています」と、当時を振り返ります。

現在は、まつど市民活動サポートセンターや六実市民センターで活動をする他、「みらいフェスタ」「まつどみらい会議」「Let's体験」「エコメッセinちば」等さまざまなイベントで、着物の使いまわしの体験やリメイクショーを行っています。昨年夏に行われた、中学生から20歳代対象のボランティア体験講座「Let's体験」でも同工房は大人気。「幼いときに着ていた浴衣などを使って袋やベストを作ってもらいました。中には6年連続で参加する子もいます」。「エコメッセinちば」では、ニューヨークから来た留学生が皆さんの作った作品を着て、ショーに出演しました。

「長い間活動を続けてきたことで、お節介が当たり前のことになるような人のつながりができたことが一番良かったです」そう笑顔で話してくれた中岡さん。「女学校時代に戻ったみたい」。そう言って、にぎやかに、楽しそうに活動している皆さんの顔はとてもいきいきとしています。

☎つかいまわし工房・中岡 FAX 385-8950

着物を解きます



リメイクした
服を着た
メンバー



ダンスのときに
着る服を考え中



中岡代表

「身近な省エネ」の実践を推進

アースコン・マツド

アースコン・マツドは「Earth (地球) conscious (意識)」、常に地球環境を意識して行動する松戸市民グループを意味し、松戸市を基盤にして、未来を見据えてよりよい環境を残そうと、「子どもエコ教室」や「省エネクッキング教室」、二酸化炭素(CO₂)の削減につながる「マイバッグ自作教室」、廃食油を資源化して作る「石鹸講座」、地球温暖化防止について考える「成人環境講座」や市内小学校での「環境学習出前講座」など、地球温暖化防止とCO₂を削減するための普及・啓発活動に取り組んでいます。平成22年にはこれらの活動が高く評価され、環境大臣表彰を受賞しました。

メンバーの川上さんは「地球温暖化対策は身近なことから取り組むことが大切。日常生活の中でどれだけエコ・省エネができるのかを皆さんが考えてほしい」と話します。1年間マイバッグを持って買い物に行けば、1人当たり牛乳パック4本分の石油の使用を減らすことができCO₂の削減につながることや、お米を炊く時に煮立ったら火から離して新聞紙で鍋を包んで3分待つとお米が炊ける省エネ調理法があること、料理する時は葉・皮・根など食材は全部使って無駄にしないこと、残さず食べることなど、地球温暖化防止策として家庭でもできる「身近なエコ・省エネ」の実践を推進しています。

市内小学校で開催する環境学習出前講座では、地球温暖化の影響や私たちが大量のエネルギーを消費して生活していること、家庭でできる身近な地球温暖化対策などを、紙芝居やスクリーンを使って分かりやすく紹介しています。「子どもたちが地球環境を守ることの大切さを実感してくれるとうれしい」と話す事務局の小堀さん。子どもたちには「今日学んだことは、お父さんやお母さんに説明してください」と話し、家族で地球温暖化について考える機会を持ってほしいと願っています。

今後は「未来を担う子どもたちへの環境教育をより充実させたい」と話す竹林代表。地球温暖化を防止し、より良い環境を次の世代に残すため、アースコン・マツドはこれからも活動を続けます。

会員募集

一緒に、地球温暖化防止活動をしませんか。
 〇アースコン・マツド・竹林 ☎344-8152、
 ✉takekiyoshi@ff.em-net.ne.jp

材料はすべて使い、
無駄にしません



森林はCO₂を
吸収して
酸素を作ります



子どもたちに物を大切にする心を伝える

日本エコトイ協会/エコトンボの会

エコトンボの会は、人生をさらに楽しくするために集う中高年の交流の場として、メンバー10人の趣味を持ち寄り、ものづくりの楽しさや物を大切にする心を子どもたちに伝える活動を10年間続けています。

「エコトンボ」とは、家庭から出される牛乳パックやお菓子の空き箱・ラップの芯・空き缶・ペットボトルのふた・爪楊枝・傘の骨・たこ焼きを入れるトレーなど、再利用できるものを使って作る竹とんぼのこと。この他にやじろべえの原理を使って指先に留める「バランスとんぼ」もあります。同会は青少年会館で行っている親子教室や図書館本まつり、葛飾区や荒川区の学童保育の他、市内の子ども食堂でもエコトンボの作り方を教えています。

「エコトンボは、お金を掛けず、捨てられてしまう物を使って作るので、エコにつながります」と鬼塚会長は話します。子どもたちに教えるのはエコトンボの作り方だけではありません。牛乳パックなどの紙は木が材料になっていることや、どのような工程でどれだけの人たちが手間をかけて作っているのかも教え、物を簡単に捨ててしまうのは「もったいない」ということを伝えています。メンバーの小林さんは「物が豊富にある時代に生まれた今の子どもたちだからこそ、「もったいない」という精神を養ってほしい」と、活動への思いを話してくれました。

同会は、市のもったいない運動協賛団体の認定を受け、活動を通して3R(廃棄物の発生抑制、資源の再使用、再利用)を推進しています。2月9日から15日まで市役所連絡通路で開催された「もったいないの日記念イベント」に、牛乳パックを丸めてぐるぐる回すとカエルの鳴き声が聞こえる「フロッグボイス」というエコトイ(おもちゃ)をアイデア作品として出展。子どもたちがエコトイを手に取り、楽しそうに遊ぶ姿が見られました。過去には、牛乳パックから作るエコトンボや「シューター」と呼ばれるレシートの芯で作るエコトンボをより高く飛ばすための道具の他、ジュースの缶で作るアルミ缶とんぼ、おもちゃが入っていたカプセルを使ったコマなども出展しています。

「子どもたちが笑顔で興味を持ってくれることがうれしい」と話す鬼塚会長。今後は、「エコトイのレパートリーを増やし、市内の小学校でも工作教室を開催したい」と意気込みます。子どもたちに物を大切にする心を伝えるため、これからも活動は続きます。

会員募集

ものづくりが好きな人、子どもが好きな人は、ぜひ参加してください。
 〇同会・鬼塚 ☎FAX 385-9221



小林さん

鬼塚会長



「シューター」を
使うとエコトンボは
10m以上飛びます

「もったいないの日記念イベント」に出展したエコトイ



エコトンボの会
のメンバーです



どっちが クールチョイスかな？

環境政策課 ☎366-7089

市では、温室効果ガス削減に向け、低炭素型の製品・サービス・行動等、地球温暖化対策になる「賢い選択＝COOL CHOICE」を推進しています。

問題1 友達へのプレゼント♪

- ❑ かわいさ重視で何重にも包み、さらに紙袋に入れて渡す
- ❑ 一枚の袋に入れて、気持ちを込めたメッセージカードを添えて渡す



エコモン [適刺包ソウサギ]

答え1

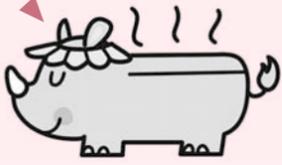
❑ 工夫をすれば、シンプルに包んでも友達に喜ばれるおしゃれなプレゼントになるよ♪ 気持ちが大切だね

問題2 お風呂の残り湯は…

- ❑ 一度使ったお湯はそのまま捨てる
- ❑ 洗濯用水に再利用する

答え2

❑ お風呂の残り湯を洗濯に使っても洗濯物はきれいになるし、節水にもなるよ♪



エコモン [サイリヨウ]

費用を一部助成！



生ごみリサイクル 始めませんか？

環境業務課 ☎366-7332

市は、市民のごみ減量意識の向上と生ごみ減量を目的に、家庭で生ごみのリサイクルができる生ごみ処理容器の購入費の一部を助成しています。

①コンポスト容器 ②EM菌等使用容器 ③電気式生ごみ処理機

補助金額 購入価格の①②2分の1 ③3分の1 (限度額①②6,000円 ③20,000円、1年度につき①2基②4基③1基まで) **対象** 以下の全てに該当する人 ● 市内に住民登録がある ● 実際に市内に居住している世帯主 ● 市税の滞納がない ● 堆肥化および減量化された生ごみを自己の責任において処理できる **申請に必要なもの** ● 世帯主の名前が記載された領収書の原本 (購入日から1年以内で、金額は本体購入価格(税込み)に限られ、領収書備考欄等にはメーカー・品名・型番等が記載されていること) ● 補助金を振り込むための金融機関の普通預金口座番号 (世帯主名義) ● 認め印
☎直接環境業務課 (☎366-7332) または各支所へ ※申請に必要な書類は、市ホームページからダウンロードもできます。

4月1日 燃やせるごみの紙袋廃止が間近です！

環境廃棄物対策課 ☎704-2010

市のごみ焼却施設2つのうちの1つが老朽化により平成31年度末に停止するため、1施設だけでは焼却しきれないごみの焼却処理を近隣市等に依頼する予定です。

そこで、燃やせるごみの排出方法を近隣市に合わせるため、平成30年4月1日から紙袋収集を廃止します。「燃やせるごみ専用松戸市認定ポリ袋」の用意および使用をお願いします。



フリンクルちゃん

Q. 平成30年4月1日以降に燃やせるごみを紙袋で出すとどうなるの？

A. 違反ごみのシールを貼り、収集を行いません。

Q. 個人情報や見られたくないごみはどのように出せばいいの？

A. 個人情報を含むものは、細断するか、黒ペンやスタンプ等で塗りつぶす等してください。その他の見られたくないものは、他の燃やせるごみに包むなどの工夫をお願いします。

Q. 買い置きしていて、余った紙袋はどうすれば良いの？

A. 小さく切って見られたくないごみを包んで認定ポリ袋に入れるために使用できます。不要の場合は、リサイクルします。下記の回収場所にお持ちください。※余った紙袋の買い取りおよび認定ポリ袋との交換はできません。

回収期間 4月2日(月)～5月31日(木)

回収場所 市役所本館および各支所に設置の紙パック回収箱



回収箱にそのまま入れてください

雑がみを分別し、ごみの減量・資源化にご協力を

燃やせるごみの分別状況を調査した結果、資源物が約15%混入していました。その中でも特に割合の大きな雑がみ(新聞・雑誌・段ボール・飲料用紙パック以外のリサイクルできる紙)の分別をお願いします。